

2022年度版

調・査
このゼミって、
どんなゼミなの？

ゼミナール連合会 & ピア・サポーター
合同企画

龍谷大学 経済学部
ゼミナール連合会 / ピア・サポーター

目次

現代経済学科

李先生	… 3
石橋先生	… 6
金子先生	… 8
川本先生	…10
木下先生	…14
新豊先生	…16
高尾先生	…18
伊達先生	…20
谷先生	…23
津川先生	…27
辻田先生	…31
田先生	…35
西本先生	…38
兵庫先生	…43
蛭川先生	…46
渡邊先生	…49

国際経済学科

上山先生	…52
大原先生	…55
神谷先生	…57
クラフチック先生	…59
小瀬先生	…62
小峯先生	…65
佐々木先生	…69
澤田先生	…71
竹中先生	…73
西川先生	…76
原田先生	…82
松島先生	…86

調・査

—このゼミって、どんなゼミなの？—



李 態妍 先生

現代経済学科

Q. ゼミの特徴を教えてください！

テーマは「環境」です。

ただ環境といってもいろいろありますからね。もちろん自然環境もありますけど、労働環境、職場環境、それから勉強環境や生活環境とか、広げれば何でもテーマになるので、いろいろなところから来てください。

ただ「来たからにはきちんとやる」つもりで来てください。そうすると、2年半で成長が実感できるようになると思います。

—何かゼミならではの特徴のようなものはありますか？

今までは12月頃に合同ゼミをやっていました。

2年生は後期に読んだ本の発表か、人数が多いとディベート大会になりますね。

3年生はグループ発表で模擬株式投資をやっていました。4年生は卒論発表。

環境がテーマなのになんで投資？と思われるかもしれないね（笑）

実際、環境と経済はよく切り離して考える人が多いんだけど、今はESG投資みたいに環境に取り組んでいる企業にお金が集まる仕組みになってきているからこれはぜひ体験してみようということでやっています。具体的には、全国の中学・高校・大学生までが参加している日経の模擬株式投資に参加して、実際に株を買い、「なぜそこに投資したのか」をレポートにまとめて審査を受けるという流れになります。環境に取り組むことが、どう経済や株価に反映されるのかを実践を通して学ぶことができるいい機会になると思います。

—楽しそうですね（笑）

楽しいと思えば楽しいし、小難しいと思えば難しいかもね。まあそれが向いてる向いてないはあるけど、効果は大きい。

というのは、もちろんレポートとかには締め切りがあるんだけど、こっちの締め切りじゃなくて、外部の締め切りだから目標も明確で、他のところがどれくらい頑張っているのかが目に見えてわかるのもいいですね。株価がぐんぐん上がっていくところもあったりして。

そういう意味ではすごくモチベーションがあがるし、完成した時には達成感もあって、将来的にゼミでこういうことをしていましたというアピール材料にもなりますからね。

レポートの審査は2段階くらいあって、それを超えたら入賞なんですけど、そこまでは行けたの



オフィスアワー：

火曜日/4・5講時

で、さらに上を狙っていただけたいなと思っています（笑）

Q. ゼミの授業内容と授業の進め方を教えてください！

基本的にはグループでの発表がメインですね。

—前の週に発表のテーマを出されるといった感じですか？

いえ、私が主に課題を設定することはないですね。

自分は何がしたいのか、何に興味があるのかというのをメンバーと話し合っ、テーマを決めていくのが基本です。テーマがまとまらない時、模擬株式投資のように提案することがあります。模擬株式投資はメンバーをまとめる効果が高かったのです。

最初にも言ったようにいろいろなところから来てほしいですし、実際前のゼミではいろいろな人が来てくれたのでやる気やテーマがバラバラなんですよね。だからはぐれる人が出ないように、また盛り上げていくためにも交流をしていくにはしています。

それにテーマ設定はかなり自由なので縛られず決めてほしいですね。

今までにあったテーマも、もちろん環境もありましたけど、町おこしの話や、労働環境といってもパワハラの話に注目するところもあれば、美容師さんの労働環境についての話があったりもして。卒論のテーマなどもかなりバラバラでしたね。

Q. ゼミに求める学生像を教えてください！

自分が決めたならしっかり頑張れる人がいいですね。

自分で決めておいて何もやらない人には、「どうしたいの？やると決めたら行動せよ！」というようなプレッシャーはかけていくと思います。だからうちのゼミでは、決めただけで適当にやろうかなという感じでは最後にしんどくなるかな。特に、グループワーク時に、担当分が出来ないと周りが助けてくれても来づらくなって抜けていくようになりますね。

だからメッセージとしては

「自分が決めたことを、自分のいる場所で積極的に一生懸命やってほしい」です。

そうしたらなにかが見えてくると思うので。自分で諦めない限り見捨てることはしないです。

Q. ゼミを通してどんな学生に育ってほしいですか？

成功体験をしてほしいですね。ちょっと小さなことであればできる、ここができなかったんだけど卒業するまでにできるようになったというような体験をして、外に出た時もいっぱい試練があると思うんだけど、なんとか自分で乗り越えられるパワーや自信をつけてほしいなと思います。

Q. 先生の趣味を教えてください！

山登りをしますね。

ぼーっと歩くのが好きで、山を勢いよく登るというわけではなく、景色を眺めながらのんびり楽しむために山には行きますね。

あとは水泳をしています。

すごく自信を無くしたときに自分が一番苦手なことをやれば少し自信がつかなと思って始めました。実際50メートル泳げるようになるまではだいたい10年くらいかかりましたね（笑）だから、もやもやすることがある時や自信を無くした時に水泳をして自分を切り替えています。雑念がある時に水に入ると沈みますからね（笑）

学生の皆さんにもスイッチを切り替えられるようなことを見つけてもらえるといいなと思います。

—学生の方と一緒にどこかに行かれたことなどはありますか？

コロナの前は合宿で発表大会とかはしてましたね。

今年は教室借りて発表大会をして、そのあと食事会みたいなのもしてみたいですけど。これもできないかな（笑）。早くできるようになってほしいですね。

李先生、ありがとうございました！！

文責：2022年度版 小林亨（3年）